

副会長就任にあたり

ふるさと応援団木島平会 副会長 小林建夫（鴻巣市）

私は、第11回ふるさと応援団木島平会総会の役員改選において副会長に推薦され承認された小林建夫と申します。穂高の小見村出身で昭和42年にふるさと木島平村を後にして早や46年が過ぎ、現在は埼玉県鴻巣市（合併前は吹上町）に在住しております。



この度、藤原新会長から役員の若返りを図るため、是非引き受けてほしいと要請があり、副会長という大役をおおせつかりました。私は元来、本会にはご縁がありませんでしたが、あるきっかけでこのふるさと応援団の会員となり、役員（監事、理事）を引き受け、副会長の任に就くことになりました。

私には、副会長という大役をこなす能力も才覚もないと思っておりますが、副会長を拝命されたからには、会員の皆様のご指導とご協力を得ながら、藤原新会長の下で微力ながら頑張りたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、ふるさと応援団木島平会の目的は、会則第2条に「本会は会員相互の交流と親睦を図るとともに、木島平村との連携を深

め、もってふるさとの活性化に資することを目的とする。」と定められております。年1回の総会・新年会だけでは必ずしも十分な交流と親睦が図られているだろうか、また、会員各位におかれては独自にふるさとの活性化のために活動されてきていることと思いますが、会として何を行えばよいか自問しているところでもあります。

そこで例えば、会員の交流と親睦の活性化を図るには趣味・考への同じ者同士が同好会またはサークルなどを創るなどして活動することにより、年齢層を超えた交流・親睦が図ることができないか。また、会として村の休耕田等を活用することによりふるさとの活性化の一助にはならないかなどと考えております。

このように今までより一歩でも前進した活動を通して会員相互の絆をより深めてまいりたいと考えておりますので皆様のご協力をお願いいたします。



最後に、会員の皆様の中で今まで総会または新年会に出席されていない方には是非出席を賜り、ご感想・ご意見などをいただき今後の総会等に反映させ、更なる発展に役立ててまいりたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

7月10日(火) 震度5弱の地震発生

7月10日のお昼頃、木島平村周辺を震源地とする震度5弱の地震がありました。

ただちに、職員で村内の集落や公共施設を見回りましたが、大きな被害はありませんでした。会員の皆さんには、御心配をお掛けしたととも、お電話等のお心遣いをいただき、誠にありがとうございました。

その後も何回かの余震が来たり、報道関係の取材が来るほどの事柄となりましたが、現在は落ち着いています。



6月16日(土) 湯本元村長お別れの会

木島平村名誉村民で、元木島平村長の湯本安正氏が6月1日にご逝去されました。

湯本氏は、全国町村会副会長や全国社協副会長、県町村会会長を歴任され、その容姿から「ヒゲの村長」の愛称で活躍されました。

木島平村では、湯本氏の生前の偉業をたたえ、ご尽力に対し、6月16日にお別れの会を湯本家と合同で執り行いました。

お別れの会では、全国から約700名の方が献花に訪れ、会場となった木島平村体育館は、弔問客で一杯となりました。



◆平成24年度 農村文明塾 農村学講座のご案内◆

農村学講座は、農山村が持つ魅力・価値を参加者が体験しながら楽しく研究出来る講座です。

◇第1回テーマ【高齢社会の暮らしを考えるー園芸福祉士などの新しい分野を学ぶ】

- 18日(土) 13:30 - 17:00
農村の環境を活かした新しい介護福祉の課題を考えます。また、新しい仕事として「園芸福祉士」についても学びます。
- 19日(日) 9:00 - 12:00
園芸福祉の現場見学
(農林高校/高齢者福祉センター福寿苑)

◇第2回テーマ【奥山の自然と恵みを考えるーエコツーリズムなどの新たな観光を体感する】

- 22日(土) 13:30 - 17:00
カヤの平を中心に、自然との関わりを考えた新しい観光のあり方などを考えます。
- 23日(日) 9:00 - 12:00
現地研修：自然観察会(ふれあいの場)

◇第3回テーマ【木島平村の「食」を考えるー食を活かした起業を体験する】

- 27日(土) 13:30 - 16:30
農村の「食」を活かした農家レストラン、直売所、米粉パンなどの取り組みを考えます。
- 28日(日) 9:00 - 12:00
精進料理の体験。

◇第4回テーマ【木島平の住まいを考えるー地域の風土にあった住宅やリニューアルの事例を見学する】

- 17日(土) 13:30 - 16:30
村の風土にあった景観などとともに、住まいづくりや空家再生を考えます。
- 18日(日) 9:00 - 12:00
移住者による民家再生とそこでの暮らしの現場を訪ねる。

◇第5回テーマ【雪と向きあう暮らしを考えるー雪を使った付加価値型生業(仕事)づくりを实践する】

- 8日(土) 13:30 ~ 16:30
雪国にふさわしい「雪」の利活用について考え、雪中貯蔵など付加価値のある加工品を考えます。
《修了書授与式ー懇親会》
- 9日(日) 9:00 ~ 12:00
雪室構想(雪中貯蔵酒・野菜への夢)などを話し合います。18:00 交流会(地域の温泉でゆったり交流)
- 11日(日) 9:00 現地研修「紙すきに『手仕事』の技を見る」14:00 実習「内山和紙で記念品づくり」
- 12日(月) 9:00 閉講式・【オプション】施設見学など

詳細情報は、今月の広報4ページをご覧ください。

問い合わせ先 木島平村教育委員会内 農村文明塾事務局 0269-82-2350